

## 長岡工業高等専門学校動物実験実施規程

平成 23 年 7 月 1 日 制 定

長岡工業高等専門学校動物実験実施規程（平成 23 年 3 月 23 日制定）の全部を改正する。

### （趣旨）

第 1 条 長岡工業高等専門学校(以下「本校」という。)において行われる動物実験については、動物の愛護及び管理に関する法律(昭和 48 年法律第 105 号)、実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準(平成 18 年環境省告示第 88 号。以下「飼養保管基準」という。)、研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針(平成 18 年文部科学省告示第 71 号)及び動物の処分方法に関する指針(平成 7 年総理府告示第 40 号)(以下これらを「法律等」という。)に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

### （定義）

第 2 条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 一 動物実験等 実験動物を教育、試験研究又は生物学的製剤の製造の用その他の科学上の利用に供することをいう。
- 二 実験動物 動物実験等の利用に供する哺乳類、鳥類又は爬虫類に属する動物をいう。
- 三 飼養保管施設 実験動物を恒常的に飼養若しくは保管、又は動物実験等を行う施設・設備をいう。
- 四 実験室 実験動物に実験操作(48 時間以内の一時的保管を含む。)を行う動物実験室をいう。
- 五 施設等 飼養保管施設及び実験室をいう。
- 六 施設管理者 実験動物及び施設等の管理を総括する者で総務主事をいう。
- 七 実験従事者 動物実験等を行う者をいう。
- 八 実験責任者 動物実験計画(計画の変更を含む。以下同じ。)ごとに、当該動物実験計画の遂行について責任を負う実験従事者をいう。
- 九 実験動物管理者 施設管理者を補佐し、実験動物に関する知識及び経験を有する実験動物の管理を行う者をいう。
- 十 飼養者 実験責任者の下で実験動物の飼養・保管を行う者をいう。

### （基本原則）

第 3 条 動物実験等の実施に当たっては、科学上の利用の目的を達することができる範囲において、代替法の利用(できる限り動物を供する方法に代わり得るものを利用することをいう。)、使用数の削減(できる限りその利用に供される動物の数を少なくすることをいう。)及び苦痛の軽減(その利用に必要な限度において、その動物に苦痛を与えない方法に

よってしなければならないことをいう。)を図ることを原則として、適正に実施しなければならない。

(適用範囲)

第4条 この規程は、本校で行われる実験動物の生体を用いる全ての動物実験等に適用する。

2 実験責任者は、動物実験等の実施を本校以外の機関に委託等する場合は、委託先においても法律等又は他省庁の定める動物実験等に関する基本指針に基づき、動物実験等が実施されることを確認するものとする。

(校長の責務)

第5条 校長は、本校において行われる全ての動物実験等の実施に関して最終的な責任を有し、動物実験等の適正な実施のために必要な措置を講じなければならない。

(動物実験委員会)

第6条 本校に、長岡工業高等専門学校動物実験委員会(以下「委員会」という。)を置く。

2 委員会は、動物実験等に関する次に掲げる事項について、審議又は調査し、校長に報告又は助言する。

一 動物実験計画が法律等及びこの規則に適合していることの審議

二 動物実験計画の実施状況及び結果に関すること。

三 施設等及び実験動物の飼養保管状況に関すること。

四 動物実験等及び実験動物の適正な取扱い並びに法律等に関する教育訓練の内容又は体制に関すること。

五 自己点検・評価に関すること。

六 その他動物実験等の適正な実施のために必要な事項

第7条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

一 総務主事

二 動物実験等又は実験動物に関して優れた識見を有する者 若干人

三 各学科及び一般教育科の教員 各1人

四 その他校長が必要と認めた者 1人

第8条 前条第2号から第4号に規定する委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

2 前条第2号の委員で本校に適任者がいない場合は、本校以外の者を校長が委嘱することができる。

3 前条第2号から第4号の委員に欠員が生じた場合の任期は、前項の規定にかかわらず、前任者の残任期間とする。

第9条 委員会に委員長を置き、総務主事をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

第10条 委員会は、委員の過半数の出席により成立する。

2 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第11条 委員長が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

第12条 委員会の事務は、総務課において処理する。

(動物実験計画の立案等)

第13条 実験責任者は、動物実験計画の立案等を行うときは、所定の動物実験計画書等を作成し、校長に申請等を行うものとする。

2 実験責任者は、動物実験計画の立案に当たっては、次に掲げる事項について考慮しなければならない。

一 研究の目的、意義及び必要性

二 代替法の利用

三 実験動物の使用数の削減のため、動物実験等の目的に適した実験動物種の選定、動物実験成績の精度と再現性を左右する実験動物の数、遺伝学的及び微生物学的品質並びに飼養条件

四 苦痛の軽減となる実験方法の選択

五 苦痛度の高い動物実験等を行う場合における計画段階からの人道的エンドポイントの設定

3 実験責任者は、動物実験計画について校長の承認を得た後でなければ、実験を行うことができない。

(実験操作)

第14条 実験従事者は、適切に維持管理された施設等において、動物実験等を行わなければならない。

2 実験従事者は、動物実験計画書に記載された事項及び次に掲げる事項を遵守しなければならない。

一 適切な麻酔薬、鎮痛薬等の利用

二 実験の終了の時期(人道的エンドポイントを含む。)の配慮

三 適切な術後管理

四 適切な安楽死の選択

3 実験従事者は、物理的、化学的に危険な材料、病原体、遺伝子組換え動物等を用いる実験を行う場合は、当該関係法令等及び本校における関連する規則等に従わなければならない

い。

- 4 実験従事者は、実験実施に先立ち必要な実験手技等の習得に努めるものとする。
- 5 実験従事者は、侵襲性の高い大規模な存命手術に当たっては、経験等を有する者の指導下で行うものとする。
- 6 実験責任者は、動物実験計画を実施した後、所定の動物実験結果報告書又は動物実験（完了・中止）報告書を校長に提出しなければならない。

#### （飼養保管施設）

- 第 15 条 施設管理者は、実験動物の飼養保管施設を設置し、又は変更する場合は、所定の飼養保管施設設置承認申請書を校長に提出し、承認を得なければならない。
- 2 校長は、申請された飼養保管施設を委員会に調査させ、その助言により、承認又は非承認を決定する。
  - 3 飼養保管施設は、次に掲げる要件を満たすものでなければならない。
    - 一 適切な温度、湿度、換気、明るさを保つことができる構造であること。
    - 二 動物種や飼養保管数に応じた飼育設備を有すること。
    - 三 床や内壁等が清掃、消毒等が容易な構造で、器材の洗浄や消毒等を行う衛生設備を有すること。
    - 四 実験動物が逸走しない構造及び強度を有すること。
    - 五 臭気、騒音、廃棄物等による周辺環境への影響を防止する措置がとられていること。
    - 六 実験動物管理者がおかれていること。

#### （実験室）

- 第 16 条 施設管理者は、飼養保管施設以外において、実験室を設置し、又は変更する場合は、所定の実験室設置承認申請書を校長に提出し、承認を得なければならない。
- 2 実験室は、次に掲げる要件を満たすものでなければならない。
    - 一 実験動物が逸走しない構造及び強度を有するとともに、実験動物が室内で逸走しても捕獲しやすい環境が維持されていること。
    - 二 排泄物や血液等による汚染に対して清掃、消毒が容易な構造であること。
    - 三 臭気、騒音、廃棄物等による周辺環境への影響を防止する措置がとられていること。

#### （施設等の廃止）

- 第 17 条 施設管理者は、飼養保管施設又は実験室を廃止する場合は、所定の施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届を校長に提出しなければならない。
- 2 施設管理者は、施設等を廃止するときは、必要に応じて、実験責任者と協力し、飼養保管中の実験動物を他の飼養保管施設に譲り渡すよう努めるものとする。

#### （実験動物の飼養及び保管）

- 第 18 条 施設管理者は、実験動物の飼養保管の標準操作手順を定め、実験従事者及び飼養者に周知しなければならない。

(実験動物の健康及び安全の保持)

第 19 条 実験従事者及び飼養者は、実験動物の健康管理に当たっては、実験動物が動物実験等の目的と無関係に傷害を負い、又は疾病にかかることを予防するため必要な健康管理を行うものとする。

2 実験従事者及び飼養者は、実験動物が前項の傷害を負い、又は疾病にかかった場合は、施設管理者と協議の上、他の動物や人への感染等の防止、当該実験動物の苦痛の軽減等のために必要な措置をとるものとする。

(実験動物の導入)

第 20 条 実験責任者は、実験動物の導入に当たっては、合法的に入手しなければならない。

2 実験責任者は、実験動物の規格、外見上の異常の有無を確認し、動物種及び施設等の状況に応じた方法で検疫・馴化を行うものとする。

(給餌・給水)

第 21 条 実験従事者及び飼養者は、実験動物の生理、生態、習性等に応じて、適切に給餌・給水を行うものとする。

(異種又は複数動物の飼育)

第 22 条 実験従事者及び飼養者は、異種又は複数の実験動物を同一施設内で飼養保管する場合は、その組み合わせを考慮するものとする。

(記録の保存及び報告)

第 23 条 実験責任者は、実験動物の入手先、飼育履歴、病歴等に関する記録を整備保存するものとする。

2 施設管理者は、年度ごとに管理下にある飼養保管施設で保管した実験動物の種類と数等について、校長に報告しなければならない。

(譲渡等の際の情報提供)

第 24 条 実験責任者は、実験動物を譲渡するときは、その特性、飼養保管の方法、感染性疾病等に関する情報を提供するものとする。

(輸送)

第 25 条 実験責任者は、実験動物を輸送するときは、飼養保管基準を遵守し、実験動物の健康及び安全の確保、人への危害防止に努めるものとする。

(危害防止)

第 26 条 施設管理者は、実験動物が逸走した場合の捕獲方法等をあらかじめ定めるものとする。

- 2 施設管理者は、人に危害を加える等の恐れのある実験動物が施設等外に逸走した場合には、速やかに関係機関及び校長へ連絡しなければならない。
- 3 施設管理者は、実験責任者、実験従事者及び飼養者に対して、実験動物由来の感染症への感染及び実験動物による咬傷等の予防及び発生時の必要な措置を講じなければならない。
- 4 施設管理者は、毒へび等の有毒動物を飼養又は保管する場合は、人への危害防止のため、飼養保管基準に基づき必要な事項を別に定めるものとする。
- 5 施設管理者は、実験動物の飼養や動物実験等の実施に関係のない者が実験動物に接触しないよう、必要な措置を講じるものとする。

(緊急時の対応)

- 第 27 条 施設管理者は、地震、火災等の緊急時に執るべき措置の計画をあらかじめ作成し、関係者に対して周知するものとする。
- 2 施設管理者は、緊急事態発生時における、実験動物の保護及び実験動物の逸走による危害防止に努めるものとする。

(教育訓練)

- 第 28 条 校長は、委員会に、実験責任者、実験従事者及び飼養者に対する、次に掲げる事項について、教育訓練を行わせるものとする。
- 一 法律等及び本学の定める規定等
  - 二 動物実験等の方法に関する基本的事項
  - 三 実験動物の飼養保管に関する基本的事項
  - 四 安全確保及び安全管理に関する事項
  - 五 その他適切な動物実験等の実施に関する事項
- 2 委員会は、教育訓練の実施日、教育内容、講師及び受講者名の記録を保存するものとする。

(自己点検・評価及び検証)

- 第 29 条 校長は、委員会に、法律等への適合性に関し、自己点検・評価を行わせるものとする。
- 2 委員会は、本校で行われる動物実験等の実施状況等に関する自己点検・評価を行い、その結果を校長に報告しなければならない。
  - 3 委員会は、施設管理者及び実験責任者に、自己点検・評価のための資料を提出させることができる。
  - 4 校長は、自己点検・評価の結果について、学外の者による検証を受けるよう努めるものとする。
  - 5 自己点検・評価の実施方法等に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

(情報公開)

- 第 30 条 校長は、本校における動物実験等に関する情報(動物実験等に関する規定、実験動

物の飼養保管状況，自己点検・評価及び検証の結果等の公開方法等をいう。)を毎年1回程度公表するものとする。

(準用)

第31条 第2条第2号に定める実験動物以外の動物を使用する実験等を行う者は，飼養保管基準の趣旨に沿って行うよう努めなければならない。

(適用除外)

第32条 畜産に関する飼養管理の教育若しくは試験研究又は畜産に関する育種改良を目的とした実験動物（一般に，産業用家畜と見なされる動物種に限る。）の飼養又は保管，及び生態の観察を行うことを目的とした実験動物の飼養又は保管については，この規程を適用しない。

(雑則)

第33条 この規則に定めるもののほか，動物実験等に関し必要な事項は，委員会の議を経て，校長が別に定める。

附 則

この規程は，平成23年7月1日から施行する。

*整理番号		
-------	--	--

\_\_\_\_\_年 月 日提出

## 動物実験計画申請書

長岡工業高等専門学校長 殿

長岡工業高等専門学校動物実験実施規程第13条の規程に基づき下記の動物実験の実施について動物実験計画書を添付のうえ、申請します。

なお、実験責任者である私は、本実験計画の遂行について責任を負い、実験計画の立案及び実施に際し、「動物の愛護及び管理に関する法律」、「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」の遵守し、動物実験委員会の指示に従い実験全体の適切な管理・監督に当たります。

また、私は生物災害の発生を防止するための知識、技術並びに関連知識及び技術に習熟しており、実験従事者に対し、法律及び省令・告示並びに本校動物実験実施規程を熟知させるとともに、これらに定める教育訓練を行います。実験記録を作成保存し、実験終了（又は中止）したときは報告書を提出します。

申請者 署名 \_\_\_\_\_ 印  
(実験責任者)

### 記

研究課題	
------	--

実験責任者	所属学科	
	研究室・職名	
	氏名	TEL _____ FAX _____ E-mail _____

※申請の種類	1.新規 2.継続 ( _____年 _____月 _____号) 3.変更 ( _____年 _____月 _____号)
--------	--

※欄は、該当する番号に○印。継続または変更の場合は確認を受けた年月及び承認番号を記入すること。







年 月 日 提出

長岡工業高等専門学校長 殿

実験責任者

所属学科： \_\_\_\_\_

職 名： \_\_\_\_\_

氏 名： \_\_\_\_\_ 印

## 動物実験計画（変更・追加）承認申請書

長岡工業高等専門学校動物実験実施規程第13条の規程に基づき、下記のとおり申請します。

研究課題名（承認番号） \_\_\_\_\_ の動物実験計画を下記のとおり、変更・追加したいので、承認願います。

記

### 1. 変更・追加事項※

（※実験内容、実験責任者、使用動物種の変更は、「計画書」を新たに提出すること。）

#### ①動物実験実施者、飼養者の変更・追加

#### ②その他

### 2. 変更・追加等の理由

### 3. 動物実験委員会の本実験（変更・追加）計画に対する意見

### 3. 校長承認欄

承認年月日： 年 月 日

この実験（変更・追加）計画を承認する。

この実験（変更・追加）計画は承認できない。

承認番号：

長岡工業高等専門学校長 氏名

印

年 月 日 提出

長岡工業高等専門学校長 殿

実験責任者

所属学科： \_\_\_\_\_

職 名： \_\_\_\_\_

氏 名： \_\_\_\_\_ 印

## 動物実験（完了・中止）報告書

長岡工業高等専門学校動物実験実施規程第14条の規程に基づき、下記のとおり報告します。

研究課題名（承認番号） \_\_\_\_\_

の動物実験は下記のとおり（完了・中止）したので報告します。

記

1. 実験（完了・中止）年月日  
\_\_\_\_\_ 年 月 日
2. 残存実験動物種（系統）匹数
3. 動物の処分年月日  
\_\_\_\_\_ 年 月 日
4. 処分方法
5. 連絡事項

年 月 日 提出

長岡工業高等専門学校長 殿

実験責任者

所属学科：

職 名：

氏 名：

連絡先：

印

## 動物実験結果報告書

長岡工業高等専門学校動物実験実施規程第14条の規程に基づき、下記のとおり報告します。

1. 承認番号	
2. 研究課題名	
3. 実験の結果 (該当項目にマークし、 その概要を簡潔に記述)	<input type="checkbox"/> 計画どおり実施 <input type="checkbox"/> 一部変更して実施 (*) <input type="checkbox"/> 中止
	結果の概要
使用動物種・数	<input type="checkbox"/> マウス 匹 <input type="checkbox"/> ラット 匹 <input type="checkbox"/> モルモット 匹 <input type="checkbox"/> ウサギ 匹 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 匹
4. 成果 (予定を含む) (得られた業績, 例: 雑誌論文, 図書などについて, 著者名, 論文標題, 雑誌名, 巻・号, 発行年等必要に応じて別紙に記載)	
5. 特記事項	

\* 変更届が提出されていること

年 月 日 提出

## 飼養保管施設設置承認申請書

長岡工業高等専門学校長 殿

長岡工業高等専門学校動物実験実施規程第15条に基づき、下記の飼養保管施設設置の承認について申請します。

<input type="checkbox"/> 新規		<input type="checkbox"/> 変更 (旧承認番号)	
受付年月日	年	月	日
			受付番号

1. 飼養保管施設の名称	
2. 施設の管理体制	①施設管理者
	②実験動物管理者 (氏名とその職名, 関連資格等についての記載等)
	③実験従事者及び飼養者 (氏名とその職名, 関連資格等とそれらの人数)
3. 施設の概要	①建物の構造 (例: 鉄筋コンクリート造)
	②空調整備 (例: 24時間温湿度制御等)
	③飼養保管する実験動物等
	④飼養保管設備 (飼養装置のタイプと最大収容可能数)



年 月 日 提出

## 実験室設置承認申請書

長岡工業高等専門学校長 殿

長岡工業高等専門学校動物実験実施規程第16条に基づき、下記の実験室の承認について申請します。

<input type="checkbox"/> 新規		<input type="checkbox"/> 変更 (旧承認番号)	
受付年月日	年	月	日
			受付番号

	建物名	階	実験室名
1. 実験室の名称			
2. 実験室の管理体制	①施設管理者		
3. 実験室の概要	①実験室の面積		m <sup>2</sup>
	②使用する実験動物の種		
	③実験設備 (飼養保管設備を含む。)		
	④逸走防止策		
	⑤臭気, 騒音, 廃棄物等による周辺への悪影響防止策		
4. 実施される実験区分	<input type="checkbox"/> 一般動物実験 <input type="checkbox"/> 感染動物実験 <input type="checkbox"/> 遺伝子組換え動物使用実験 <input type="checkbox"/> 放射性同位元素・放射線使用実験 <input type="checkbox"/> 化学的危険物質使用実験		
5. 特記事項			
6. 委員会記入欄	調査年月日: 年 月 日 調査結果: <input type="checkbox"/> 申請された実験室は, 長岡工業高等専門学校動物実験実施規程等に適合する。 <input type="checkbox"/> 申請された実験室は, 長岡工業高等専門学校動物実験実施規程等に適合しない。 意見等:		
7. 校長承認欄	承認年月日: 年 月 日 本申請を承認します。 承認番号: 第 号  長岡工業高等専門学校長 氏名 印		

添付資料

①実験室の位置を示す地図

②実験室の平面図

③実験設備の写真



\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 提出

## 施設等（飼養保管施設・実験室）廃止届

長岡工業高等専門学校長 殿

長岡工業高等専門学校動物実験実施規程第17条に基づき、下記のとおり提出いたします。

1. 廃止する飼養保管施設 又は、実験室の名称	<input type="checkbox"/> 飼養保管施設 <input type="checkbox"/> 実験室
	設置承認番号（ _____ ）
2. 施設等管理者	①施設管理者
3. 廃止年月日	_____年 _____月 _____日
4. 廃止後の利用予定	
5. 廃止時に残存した飼養保管動物の措置	残存飼養保管動物の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合の措置
6. 特記事項	